

東洋大学校友会
新潟県支部会報
第39号

令和5年10月22日発行

南水

発行
東洋大学校友会新潟県支部
発行者 小島正弘
発行所 〒943-0891
上越市昭和町2-19-30
TEL 025-525-3825
印刷製本 株式会社 本間印刷所

令和5年度新潟県支部総会を4年ぶりに開催



令和5年8月26日 於：ホテルグローバルビュー新潟

●●● 巻頭言ごあいさつ ●●●

支部長 小島正弘
S39年経済学部経済学科卒



東洋大学校友会新潟支部の校友の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から校友会活動に対してご支援を賜り感謝申し上げます。東洋大学校友会は全ての東洋大学卒業生を会員とする組織として「校友の親睦」、「大学の興隆発展への寄与」を目的として国内では全国61支部を中心に活動している組織です。出会いが人を成長させるそんな積極的な気持ちで、皆様の参加をお待ちしています。

新型コロナウイルスの感染もようやく沈静化に向かい、日本政府は法的な位置付けをインフルエンザ感染症と同類の第5類に引き下げを行い、マスク着用も緩和されました。様々な面で制約を受けざるを得ませんでしたが、ようやく収束のきざしが見えてきました。今年のゴールデンウィークは空もJRも高速もコロナ禍前の混雑に戻ったと報道されています。それらをいろいろ考慮し、4月23日(日)役員会を開き、新潟県支部校友会総会を4年ぶりに8月26日(土)下越地区で開催することに決定しました。

さて大学の近況を見ると、グローバル人材の育成を目指して東洋大学は平成26年(2014年)に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」に採択され「グローバルリーダーの集う、アジアのハブ大学を目指す」のもと教育構造の改革、グローバル人材の育成を実践しています。母校東洋大学は多様な学部と大学院を有する総合大学へと発展してきました。毎年7000名以上の卒業生を輩出し躍進の一途をたどっています。また本年度の私立大学志願者数では、全国第8位にランクインしました。偏差値の上昇も注目され、人気大学として発展しています。こうした母校の成長、発展には校友として元気づけられます。

そして正月恒例の第99回箱根駅伝2023年の結果は、往路11位、復路6位、総合10位でしたが、次回100回大会(令和6年)への参加シード権は獲得しました。残念ながら優勝争いに加わることなくゴールしましたが、強豪ひしめく中、シード権の18年連続獲得は素晴らしい記録です。それでも、応援する側は、やはりトップ争いで名前が呼ばれるようなレースを見たかったのが正直なところ。来年記念すべき100回大会、ぜひ上位に食い込んでほしいものです。サッカー全日本女子選手権大会では東洋大は創部10年目で初優勝しました。祝、おめでとう(2023年1月7日新聞)。また寂しいニュースもありました。ボクシングの村田諒太選手、東洋大学卒業生が現役引退を発表したことを聞いてファンとして校友として大変ショックでした。村田選手は2012年ロンドン五輪(男子ミドル級)で日本選手として48年ぶりに金メダルを獲得しました。2013年にプロに転向し2017年に世界ボクシング協会(WBA)ミドル級王座につきました。プロ通算戦績は16勝(13KO)3敗の記録が残っています。次のステージに向かって、高みを目指して頑張っていくことでしょう。ご苦労様でした(令和5年3月29日新聞)。

校友の皆様には勉学に興味にスポーツに、各地域でご活躍のことと思います。東洋大学建学の理念である「他者のために自己を磨く」この言葉の意味を今一度再確認し、校友の一人として自己研鑽していきたいと思っています。これからも支部活動に皆様方のご支援ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

第89回新潟県支部総会概要

令和5年8月26日 ホテルグローバルビュー新潟

総会次第

司会進行	阿部吉弘
開会宣言	本間直彦
物故者への黙祷	阿部吉弘
支部長挨拶	小島正弘
校友会会長挨拶	神田雄一様
祝辞 雨水会	相田小織様
議長選出	山崎次男
議事	
① 令和4年度会務報告	小島正弘
② 令和4年度会計報告	高島幸男
③ 令和4年度監査報告	議長代読
④ 令和5年度事業計画案	小島正弘
⑤ 令和5年度予算案	高島幸男
⑥ その他	
全て原案通り可決	
講演会	緒方三郎様
音の不思議な世界	
講演会	内藤雅孝様
線状降水帯と昨年8月の下越北部水害について	
閉会	阿部吉弘



神田会長挨拶



相田雨水会支部長挨拶



司会 阿部吉弘



スクリーンにはZoom参加者



小島支部長挨拶



議長山崎氏



会計報告高島氏

講演をする緒方三郎氏 内藤雅孝氏



緒方三郎氏



内藤雅孝氏



旧川越キャンパスも織り込まれ

和やかに行われた懇親会



田中 隆氏の乾杯で開始



五島列島の校友より
パラモン焼酎の差し入れ



坂田氏のカタカタ東洋で大いに盛り上がる



阿部氏クラリネット伴奏で
大学歌斉唱



全員で万歳三唱



山崎氏の閉会の挨拶

令和4年度 東洋大学校友会新潟県支部収支計算書

(自: 令和4年4月1日~至: 令和5年3月31日)

【収入の部】 単位: 円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
年会費交付金収入	170,000	119,000	51,000	119名@1,000円
終身会費交付金収入	90,000	78,000	12,000	78名@1,000円
新卒者納入会費交付金	10,000	2,000	8,000	2名@1,000円
周年企画補助収入	0	0	0	
支部事務費補助収入	20,000	20,000	0	
支部会報発行助成収入	40,000	40,000	0	
ホームページ助成収入	10,000	10,000	0	
総会特別企画補助収入	20,000	0	20,000	
女性参加促進助成収入	10,000	0	10,000	
支部総会通信費収入	80,000	657	79,343	
小計①	450,000	269,657	180,343	
支部総会参加費収入	400,000	0	400,000	
支部会費収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
預金利息収入	3	2	1	
雑収入	0	0	0	
支部総会祝儀	20,000	0	20,000	
小計②	420,003	2	420,001	
収入計③=①+②	870,003	269,659	600,344	

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減	摘要
支部総会関連費支出	450,000	0	450,000	
支部会報作成費支出	170,000	155,000	15,000	
支部活動費支出	20,000	0	20,000	
地区活動費支出	90,000	60,000	30,000	
会議費支出	40,000	59,300	-19,300	
通信費支出	30,000	33,794	-3,794	
印刷費支出	5,000	140	4,860	
事務用消耗品費支出	10,000	0	10,000	
旅費交通費支出	30,000	45,440	-15,440	
慶弔費支出	10,000	0	10,000	
渉外費支出	20,000	10,000	10,000	
雑支出	5,000	11,350	-6,350	
ホームページ助成	10,000	2,200	7,800	
女性参加促進助成	10,000	0	10,000	
予備費支出	5,000	5,000	0	
支出計④	905,000	377,224	527,776	
当期収支差額⑤=③-④	-34,997	-107,565	72,568	
前期繰越収支差額⑥	419,164	419,164	0	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	384,167	311,599	72,568	

次期繰越収支差額の内訳

現金	18,817
普通預金	292,782
計	311,599

上記のとおりご報告いたします

令和5年4月23日

支部長 小島 正弘

会計担当 石田 季男

上記決算報告について監査した結果、適正であると認めます。

令和5年4月23日

監査 牛木 良仁

監査 澤海 雄一

令和4年度 会務報告

(2022年4月1日~2023年3月31日)

- 3月27日(日) 新年度計画準備役員会 (Zoomによるweb会議の体験会実施)
- 2022年
 - 4月24日(日) 令和4年度第1回役員会(web会議)10:00~12:00
上越市「音羽館」参加16人
・新型コロナ感染防止のため支部総会中止を決定
・山古志合宿(野球部)激励募金活動中止
 - 5月 令和4年度支部長会 中止
 - 5月21日(土) 下越地区役員会、白山会と合同開催
 - 5月22日(日) 上越地区役員会 中止
 - 6月5日(日) 第2回役員会(支部総会協議)中止
 - 6月19日(日) 上越地区総会 中止
 - 6月26日(日) 中越地区役員会(総会案内状郵送)中止
 - 7月 城西支部総会 中止
 - 7月9日(土) 浦水会新潟県支部総会開催
 - 8月 大学野球サマーリーグ観戦・激励 中止
 - 8月21日(日) 校友会新潟県支部総会(会場:中越地区)中止
 - 9月 陸上競技部「山古志合宿」中止
 - 10月 レディースクラブ(女性の集い)中止
 - 10月1日(土)、2日(日) 気軽な座談会(下越地区)開催
 - 10月16日(日) 大学対抗親善ゴルフ大会(上越地区)開催、参加2人
 - 10月23日(日) 「浦水38号」発刊、校友会本部宛送付
 - 10月30日(日) ホームカミングデー校友会全国物産展に出品
 - 11月12日(土) 白山会(下越地区交流会)
 - 12月4日(日) 第3回役員会(年間活動の総括、忘年会)開催
 - 12月5日(月) ブロック別校友会長との意見交換会(オンライン会議)
北陸甲信越ブロック(新潟、長野、静岡、山梨)開催
- 2023年
 - 1月21日(土) 駅伝祝勝会(中越地区)中止
 - 2月17日(金) 安吾忌(下越地区)開催
 - 4月2日(日) 支部会計監査

令和5年度 東洋大学校友会新潟県支部収支予算書

(自: 令和5年4月1日~至: 令和6年3月31日)

【収入の部】 単位: 円

科目	令和5年度	令和4年度		増減	摘要
	予算案(イ)	予算額(ロ)	決算額		
年会費交付金収入	130,000	170,000	119,000	-40,000	130名@1,000円
終身会費交付金収入	80,000	90,000	78,000	-10,000	90名@1,000円
新卒者納入会費交付金	10,000	10,000	2,000	0	10名@1,000円
周年企画補助収入	0	0	0	0	
支部事務費補助収入	20,000	20,000	20,000	0	
支部会報発行助成収入	40,000	40,000	40,000	0	
ホームページ助成収入	10,000	10,000	10,000	0	
総会特別企画補助収入	20,000	20,000	0	0	
女性参加促進助成収入	10,000	10,000	0	0	
支部総会通信費収入	80,000	80,000	657	0	
小計①	400,000	450,000	269,657	-50,000	
支部総会参加費収入	400,000	400,000	0	0	
支部会費収入	0	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	0	
預金利息収入	2	3	2	-1	
雑収入	0	0	0	0	
支部総会祝儀	20,000	20,000	0	0	
小計②	420,002	420,003	2	-1	
収入計③=①+②	820,002	870,003	269,659	-50,001	

【支出の部】

科目	令和5年度	令和4年度		増減	摘要
	予算案(イ)	予算額(ロ)	決算額		
支部総会関連費支出	450,000	450,000	0	0	
支部会報作成費支出	150,000	170,000	155,000	-20,000	
支部活動費支出	30,000	20,000	0	10,000	
地区活動費支出	60,000	90,000	60,000	-30,000	
会議費支出	20,000	40,000	59,300	-20,000	
通信費支出	30,000	30,000	33,794	0	
印刷費支出	5,000	5,000	140	0	
事務用消耗品費支出	10,000	10,000	0	0	
旅費交通費支出	20,000	30,000	45,440	-10,000	
慶弔費支出	10,000	10,000	0	0	
渉外費支出	20,000	20,000	10,000	0	
雑支出	5,000	5,000	11,350	0	
ホームページ助成	10,000	10,000	2,200	0	
女性参加促進助成	10,000	10,000	0	0	
予備費支出	5,000	5,000	5,000	0	
支出計④	835,000	905,000	377,224	-70,000	
当期収支差額⑤=③-④	-14,998	-34,997	-107,565	19,999	
前期繰越収支差額⑥	311,599	419,164	419,164	-107,565	
次期繰越収支差額⑦=⑤+⑥	296,601	384,167	311,599	-87,566	

令和5年度 事業計画

(2023年4月1日~2024年3月31日)

- 2023年
 - 4月2日(日) 新年度計画準備役員会
 - 4月23日(日) 令和5年度 第1回役員会(web会議)10:00~12:00
上越市「ターミナルホテル」
 - 5月 令和5年度支部長会
 - 5月21日(日) 上越地区役員会
 - 5月26日(金) 校友会長とのブロック別意見交換会(北陸、甲信越、東海近畿ブロック)
 - 6月10日(土) 第2回役員会(web会議、支部総会等協議)15:30
 - 6月25日(日) 中越地区役員会
 - 7月 城西支部総会
 - 7月2日(日) 浦水会新潟県支部総会 開催
大学野球サマーリーグ観戦・激励
(カンパ取組予定せず)
 - 8月26日(土) 校友会新潟県支部総会(下越地区)
ホテルグローバルビュー新潟 9:50
陸上部「山古志合宿」(カンパ取組予定せず)
 - 9月
 - 10月1日(日)、2日(月) 気軽な雑談会(下越地区)
 - 10月7日(土) 米百俵まつり(中越地区)
 - 10月15日(日) 大学対抗親善ゴルフ大会(上越地区)
 - 10月 レディースクラブ「女性の集い」
 - 10月下旬 「浦水39号」発刊
 - 10月29日(日) ホームカミングデー
上越地区総会「ターミナルホテル」
 - 11月10日(金) 白山会(下越地区交流会)
 - 11月11日(土) 白山会(下越地区交流会)
 - 12月3日(日) 第3回役員会(年間活動の総括、忘年会)
- 2024年
 - 1月20日(土) 駅伝祝勝会(中越地区:長岡市 彦乃)
 - 2月17日(土) 安吾忌(下越地区)
 - 4月1日(日) 支部会計監査

上越だより

日々是好日

S47年経営学部商学科卒 高島 幸男



会社勤めの頃、『貴方の趣味は何ですか?』と聞かれても他人に言えるような趣味が無く、『趣味は仕事ですね。』と正直に答えていた。67歳で会社を退任し、その後顧問を経て満70歳で完全に仕事を離れた。現役の頃は『退任すれば好きなことだけして暮らせる。』と心ウキウキ待ち望んでいた。しかし退任即自分の好きなことだけするのは許されなかった。地域社会での分担業務が待ち構えていた。人生100年時代、健康なうちは何か人のために恩返ししようとして町内会長など快く引受けた。3期6年間、自分のことと地域のことを並行して行った。そして昨年

末無事に地域の仕事を果たし終え、漸く自分のことだけ出来る時が訪れた。今現在は「毎日が休日」であり、そして「日々是好日」である。

会社退任後に始めた好きなことは3つある。「健康維持を兼ねたロードバイク」と、「他人任せだった庭の整備」、そして「三度の挑戦であるバイオリン（以下Vnという）」だ。どれも長いあいだ心に秘めていた夢への挑戦だ。

一つ目のロードバイクであるが、手軽でかつ膝や腰に過度な負担が掛からない老後のスポーツという観点で選んでいる。オールカーボン製の高価なバイクを2台購入し、オレンジと黒の目立つヘルメットと派手なサイクルジャージを着こみ自然を楽しみながら走っている。年間1000km~2000km走破が目標だ。走るたびに走行情報をネットで交換するバイク仲間も出来た。お陰で血圧や血糖値も正常で月2回のゴルフも難なく楽しめている。バイクを始めて本当に良かったとつくづく思っている。

二つ目は庭の整備である。以前より家族から『歳をとって庭の手入れや冬囲いが出来なくなったら樹木は伐採し石庭だね!』と脅されていた。確かにこれまでは仕事一本やりで家のことは一切できず全て他人任せだった。先ずは手間暇をかけても惜しくない庭にしようと1年かけて自ら設計し、東屋と遊歩道をつくり雑木林風に改造した。その後約6年が経ち庭全体に苔がむし、心安らぐ良い雰囲気になった。水遣りと庭の手入れは日課である。何歳まで出来るか分からないが命がある限り汗を流し四季折々の風情を楽しみたいと願っている。

三つ目はVnである。それは昭和33年のことだった。鰐淵晴子さんのVn演奏を聴きその音色に衝撃を受けた。それがそもそものきっかけだ。父にせがみ小3からVnを習わせて貰った。中学高校では運動選手になり音楽から遠ざかった。30歳台後半、東京へ単身赴任した。一人暮らしの寂しさから自然と楽器店を訪れVnを再開していた。某オケの元コンマスにめぐり会い3年間師事したが、音楽の素質がない自分にはハードルが高かった。その後本社に戻りまた仕事に没頭した。しかし会社退任時期を迎え幼い頃の想いがまた頭をもたげ3度目のVnに挑戦をしようと心に決めた。退任と同時に有名な先生に師事し既に6年間練習を続けている。自分には音楽の才能が無いことは分かっている。しかしVnの音色が特別好きなのである。あと5年余りで80歳になる。その頃になれば少しはまともに弾けるだろうと夢を膨らませている。(不快な雑音で家族皆に迷惑を掛けていてゴメンナサイ)

来年の誕生日で後期高齢者の仲間入りをする。自分の寿命はわからないが今は特別に悪いところも無く健康だ。「日々是好日」これからもこの3つの楽しみを続けて生きたいと思う。「他人に何と言われようが自分の想いに向かって進む、それが私の生き方であり、私そのものなのだ。」

中越だより

学生生活

S49年経営学部商学科卒 諸橋 陽一



昭和45年4月 1年時 右側が自分
東京都板橋区相生町東洋大学柔道部合宿所(寮)前

私は昭和49年経営学部商学科卒業、長岡在住の諸橋陽一71歳です。

昭和45年3月3日の高校卒業式直後、大学柔道部の合宿所(寮)への入寮が3月4日の午後5時までだった為、私の大学生活は他の同級生より少し早い、昭和45年3月より始まりました。入寮してまず目に入ったのは体格の素晴らしい諸先輩方の姿でした。そののち、夕方までに同期生9人が全国から一堂に会しましたが、一番体格の良い同期生が北海道出身、身長185cm体重140kgの巨漢で、大きい方から数えて7番目(身長176cm 体重95kg)だった私は、この中で4年間柔道をするのかと肝を冷やしたことを覚えています。

急激な生活環境の変化に戸惑う間もなく、入寮の翌日から春の合宿、静岡県清水市で大学柔道生活の第一歩が始まりました。慣れない雑用と稽古の日々であるという間に最初の2週間が過ぎ、やっと東京の校舎に戻ったと思いきや、朝6時起床からのトレーニング、10時から校内で稽古、午後は授業という生活が待っていました。試合前になると6時起床から始まる一連の稽古の他、昼12時までの警視庁富坂警察署柔道特練部、

午後2時まで学校、午後4時から午後5時30分まで講道館での各稽古が追加となり、目まぐるしい日々を送りました。

更に、寮に帰れば1年生2人、2年生1人が交代で全員の朝夕の食事当番をし、その他に各部屋の先輩方の用事などもこなさなければならず、1年生はあっという間に過ぎ去りました。

2年生になると、気が付けば入学時に9人いた同期が7人になっていました。春の合宿は千葉県成田市で、1年の頃に比べれば稽古に専念できる毎日だったと思います。この年は夏に前田監督の出身地である北海道旭川市に合宿におとずれたところ、当地での大歓迎ぶりに大変驚くとともに感動しました。学業の面では、1年生の9月に前期試験に臨んだきり、4年生卒業まで全期レポートで乗り切ることとなり、出席日数の確保に苦労したことも懐かしく思い出されます。

3年生では、稽古もかなり激しくなり大変なことも多くありましたが、春の合宿で訪れた千葉県勝浦市が、東京より温暖で食事がおいしかったことを記憶しています。

そしていよいよ最終学年の4年生となり、最後の春合宿を千葉県成田市で行いましたが、優秀な後輩達が増え、部を牽引する立場として大変気合の入った合宿となりました。

そして昭和49年3月諸般の事情から卒業式が中止となるハプニングが発生し、当時は今のように外出先での連絡を簡単に取り合う事も出来なかったため、式に出席する為に長岡から上京してきた両親と、逆に長岡へ帰省した私が、途中で行き違いになったことも今となっては良い思い出です。

その後は家業の会社に入社するとともに、大学の経験をもとに、母校の中越高校で2年間柔道部のコーチをさせていただくなど、柔道にかかわりを持ち続けて今日に至っています。

下越だより

ととら紀行

H7年文学部哲学科卒 中澤 新一



いつも旅に出るときには「旅に出ます。探さないでください。」というセリフを思い浮かべる。そこで、Facebookには、そのとおり載せたりする。そう言いながら、この切符を見ての通り、上越方面のフリー切符である。高田、直江津ならば、往復の運賃とほぼ変わらない。とても使いやすい切符だ。ただし、有効期限は週末の二日間のみ。

さて今回は、というか、今回もなのであるが、高田世界館で観ておきたい映画があるので、出かけることにした。動く時の言い訳はそんなものだ。

「ワン・セカンド永遠の24フレーム」。1秒(24フレーム)だけ自分の娘が映っている。

その娘の姿を一目見たい、その映画本編の前に流れるニュース画像を観たい。その一心で、主人公は、文化大革命後に収容された強制労働所から脱走し、ついに上映される映画館を探し当てる。しかし、そこからもうひとひねりもふたひねりも話しが展開する。少々ややこしく長いお話しなのだが、これが、フィルム映画の技術を伝える記録にもなっている。フィルムが、埃まみれになり、なおかつぐしゃぐしゃになり、それを上映可能な状態にまで、復旧し、上映機にかけるところなどは、映画の製作そのものに興味を持って、一度はその世界にも足を踏み入れた私にとっては、この上もなく楽しいものであった。デジタル化し、データとなって保存される今では、こうはいかない。

さて、ここからが本題。その余韻を味わいながら、いつものことであるが、ちょいと一杯やりに行くわけだ。大学時代の友達夫婦が、高田駅前仲町で『ととら』というお店をやっているから。というよりも、そもそもこちらがメインかもしれない。「高田世界館でいい映画やってるから、出かけるか」といってその実、ここで飲むのが目的だったりするのだ。



ちなみに「高田駅前ととら」で検索すると、食べログなどの案内が出てくるので、チェックしてみてください。

まずは、生ビール。それからいつも注文するのが「アンチョビポテト」。鶏を下処理したときの限定品「クダ」。これは、レバーとハツをつないでいる太い血管。独特の食感で美味いんだ。そして手羽と胸肉の間の部分「フリソデ」。ささみとはまた違う味わい。ほかにも、注文してから燻すクリームチーズや、鶏の各部位(手羽先、砂肝、もも肉など)を焼いた「オールスター」なんかおすすめ。焼き物は、すべて炭火焼で、熱い鉄板で出てくるから、良い熱さが持続。魚は刺身、あればぶりのカマ焼きなども。さらに、じゃこ飯や、汁なし温玉うどんなど、締めのご飯もユニークなメニューが盛りだくさん。

そもそも「ととら」とはなんぞや?と思うでしょう?メニューのとおり鶏とお魚のこと。幼児言葉で「とと」とか「とっと」って言うでしょう?それに複数形の「ら」をつけて、「ととら」、「ととら」というわけです。お酒も上越方面の良いお酒が、ずらりと揃っています。ぜひ、おいしい料理と極上のお酒をご賞味あれ。記事書いてたら、一杯やりたくなっちゃった。「じゃ、行ってきます。」



ととら
新潟県上越市仲町3丁目2-13 025-523-0180
校友のやっているお店です



坂田康雄さん (S48年経済学部卒) が第110回日報柳壇賞

坂田さんは、新潟日報読者文芸川柳部門入選者から最も優れた入選者に贈られる日報柳壇賞を初めて受賞しました。

選者の山倉洋子氏からは、表現、内容が気持ちよく人情味が地に足着いたすらりと心に溶け込んでくる句です。と受賞理由がのべられました。

受賞代表作品

- ◎ 豪雪と生きた証しの丸い背な
(転勤で上越にいたころ周りにいたおじいちゃんおばあちゃんをを詠んだ句)
- ◎ くちびるをとられる予感おぼろ月
(陽気がよくなり、恋する季節を朧月を通して男女関係を詠んだ句)
- ◎ 一本つけて今日は父の日
(10年以上も前に亡くなった父を思い浮かべて作った句)

坂田さんは、「受賞は夢のようです。始めたころは掲載されるだけでうれしかったけれど徐々に選評付きで載ってみたい、賞も狙いたいと欲が出てきました。今は、2回目・3回目の柳壇賞をとりたいという気持ちです。」と喜びを語っていました。

※この記事は令和4年11月8日新潟日報文化面に掲載されました。

事務局より

◎ 校友会費納入についてのお願い

支部活動は校友会費納入による、支部還元金によって運営されております。納入いただいた方には、校友会本部から「東洋大学校友会報」が年2回送付されます。この会報「甬水」も還元金によって多くの方々の手をわずらわし、発行させていただいております。

年会費 3,000円 終身会費 (1回完了) 50,000円
郵便振替 口座番号 00150-0-91833
加入者名 東洋大学校友会

◎ 校友会本部事務局よりメールアドレス登録のお願い

「校友会ジャーナル」は、一般社団法人化を機に令和2年10月より電子版を前提にした作りリニューアルいたしました。今後は、段階的にメールの配信に切り替えていく予定です。メールアドレスの作成・登録についてご協力の程よろしくお願いたします。

【メールアドレス登録の連絡先】
東洋大学校友会事務局
FAX: 03-3946-6311 E-mail: koyukai@alumni-toyo.jp
件名: 校友会ジャーナル用メールアドレスの件

校歌

作詞 林 古溪
作曲 山田 耕筈

亜細亜の魂再び此処に
目覚めしよろこび溢れつ人に
雄々しく掲げたり鬨^{とき}の声
東洋大学生れぬかくて
亜細亜の天地暁明けて
仁義と慈悲との誠の光
今こそ輝け西の海
東洋大学務は重し

会員動静

(敬称略)

■ 受賞おめでとうございます

代議員永年表彰 (3期9年) 石田 秀男 (S41年経済学部卒)



編集後記

今年も無事に広報誌が発行でき関係各位に深く感謝申し上げます。また原稿をお寄せくださった方々に対して厚く御礼申し上げます。有難うございました。さて校友会広報誌発行の目的は校友会支部の現況報告と校友の親睦への寄与、そして最も大事なことは支部活動に参加されたことがない多くの校友諸氏に対しても『自分もちょっと活動を覗いてみようかな?』と興味を持って頂くことだと私は理解しています。しかしまだそのレベルには程遠いと思われまふ。

支部長の巻頭言にもあります様に、『出会いが人を成長させるそんな積極的な気持ちで参加』が出来れば良いのですが、なかなか現実には難しいものです。声を掛ければ逆に、『校友会に参加するメリットは?』と聞き返されてしまいます。人との交流を通じGive and Takeが出来るほど自分に自信があり魅力に溢れていけば良いのですが、自分はまだまだ未熟です。もっともっと自己研鑽を積まなければならないのでしょう。

S47年経営学部商学科卒 会報部長 高島幸男